

# 日本ADHD学会 主催 特別講演会(英語)

日本 ADHD 学会では最新の ADHD に関する研究を我が国の臨床の場に伝えるため以下の特別講演会を企画させて頂きました。  
是非、ESSENCE の新しいコンセプトを提唱者の Christopher Gillberg 先生からお聞きください。

演者 Christopher Gillberg 先生

「Professor of Child and Adolescent Psychiatry  
at the University of Gothenburg, Sweden,」



演題 「ESSENCE : Early Symptomatic Syndrome's Eliciting Neurodevelopmental Clinical Examinations : (神経発達学的臨床検査の必要性を引き出す早期症状症候群)」

司会

北海道大学 児童思春期精神医学分野 特任教授 齊藤卓弥先生 (本学会常務理事)

概説

ESSENCE は、Christopher Gillberg 2010 が発案した Early Symptomatic Syndrome's Eliciting Neurodevelopmental Clinical Examinations (神経発達学的臨床検査の必要性を引き出す早期症状症候群) の略語であり、世界中で大きな注目を集めており、現在この概念下に多くの研究が開始されています。ESSENCE とは、ODD (反抗挑発症)、ADHD (注意欠如多動症)、SLI (発達性ディスレクシアや言語障害)、DCD (発達性協調運動症)、IDD (知的能力障害)、ASD (自閉スペクトラム症)、TD/TS/OCD (チック症、トゥレット障害、強迫症)、RAD (反応性愛着症) BIF (ボーダーラインの知的障害)、胎児性アルコール症候群、てんかんや PANS (小児急性発症神経精神症候群) を含む早期幼児期の神経発達学的 / 神経精神医学的障害の広範な問題を内在する概念です。ESSENCE に共通してみられる全般的な発達の遅れ、協調運動・知覚認知の遅れ、コミュニケーションや言語の遅れ、衝動性、注意の欠如、社会的・相互的な交流の欠如、常同的行動、チック、情動の調節の困難、睡眠障害、食行動の問題を同定することから、専門家のコンサルテーションに繋ぎ、早期に主要な神経発達症を含む障害の早期診断を可能にすることを目的にしています。一方でこのような症状は、「共生体」と呼ばれ、早期の診断評価の際に完全な鑑別は困難ですが、ESSENCE という概念の元で経過観察をしていくことも重要です。ESSENCE に含まれる障害は、しばしば遺伝子、環境リスク因子および臨床症状を共有し、グループ内の別の障害の症状と重複する可能性もあります。ESSENCE はそれ自身の診断ではなく、その概念的枠組みは実際には必ずしも新しいものではありませんが、研究者と臨床医師の両方に注意を払うための一つのステップを表しています。早期に発達神経学的問題に介入するための糸口を探求するものです。

## 開催要項

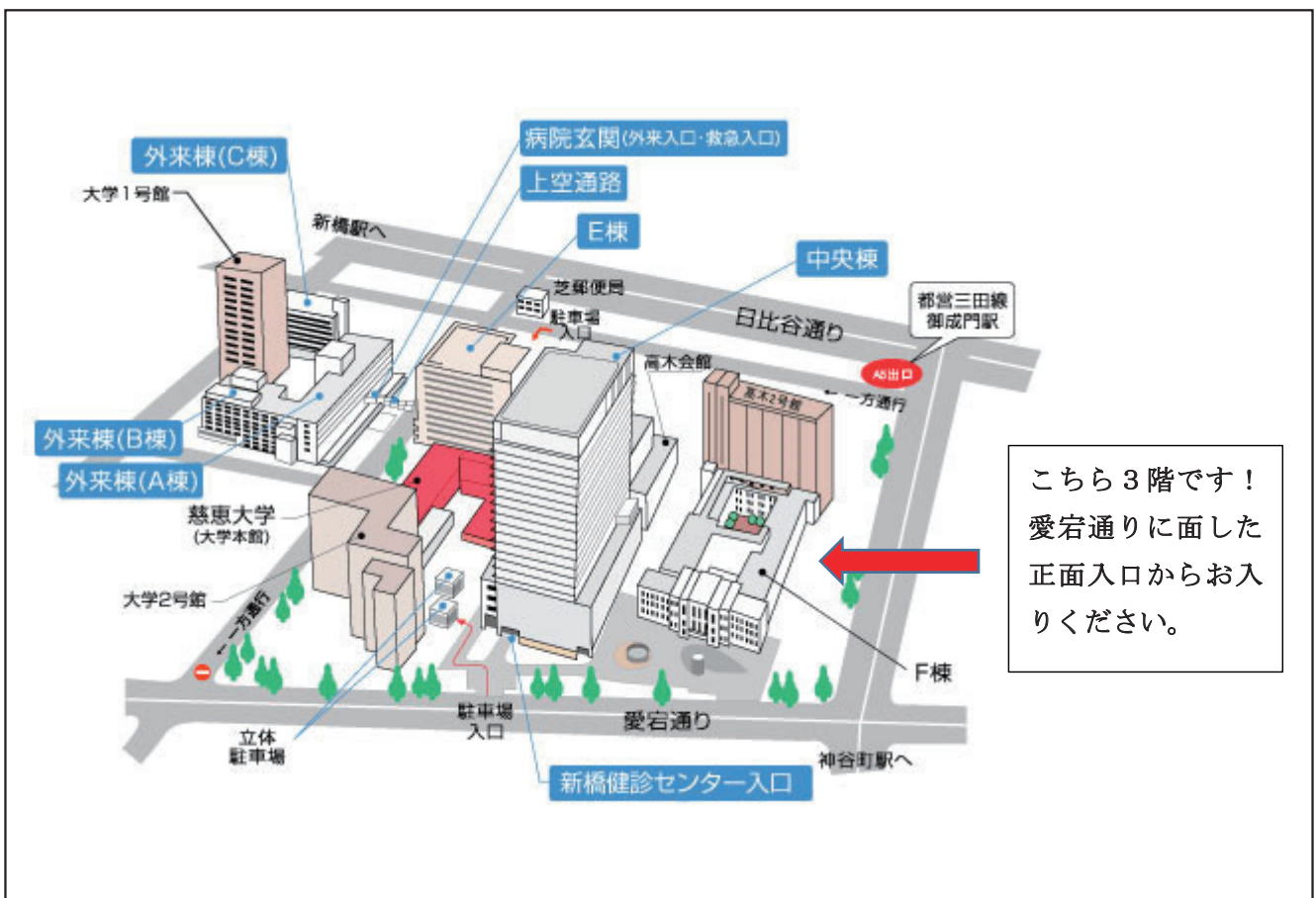
日時： 2017年10月14日（土曜日） 14時から15時（13時半開場）

場所： 東京慈恵会医科大学 F棟 3階 臨床講堂

先着100名まで無料 英語の講演会です。

参加者資格 日本ADHD学会会員もしくは  
医師 研究者 心理職 コメディカルスタッフ

## アクセス



## 【問合せ先】

〒160-0022  
東京都新宿区新宿1-27-2 山本ビル2階  
日本ADHD学会 事務局

TEL:03-5367-2382 FAX:03-5367-2187  
E-mail:secretariat@js-adhd.org